



つつじが丘小学校
学校だより

つつじ

平成28年12月1日(木)



『だれもが笑顔になる学校』



落ち葉掃き 子等の笑顔に 和む朝

校庭の木々の黄色く色づいた葉が、風がちょっとでも意地悪すればすぐに全部落ちてしまいそうになるくらいまばらになって、枝にしがみついています。いよいよ師走、今年もあと一か月となりました。

11月22日に行われた本校の開校式典は、臼井伸介昭島市長をはじめたくさんの来賓が参列される中、来賓の方々の温かいお言葉と全校児童の会場中に響き渡るよびかけと歌で、新校の喜びと希望を感じながら無事に終えることができました。式の最後に歌った、校歌の作詞作曲をしていただいた国立音楽大学名誉教授 石井亨先生の指揮による校歌の全員合唱。明るく力強く弾むように全員の心から心へと響き伝わっていくのを見て、4月にスタートしてからこの8か月、子供たちがこの学校の仲間としての絆を強くしていったことを感じ、胸にこみ上げるものがありました。改めて、これからこの子供たちの素晴らしい力をさらに伸ばしていけるよう、教育ビジョン『自立と共生』の実現に向けて邁進する決意をいたしました。

本校の目指す『自立と共生』の実現したイメージとして、本校のキャッチフレーズ『だれもが笑顔になる学校』があります。『だれもが笑顔』という言葉には、「一人一人が大切にされ、一人一人が尊重される」人権尊重の教育観が込められています。お互いの違いを認め合い、尊重し、助け合える社会の実現のために、小学校時代にしっかりと自己肯定感と自己有用感をもたせておきたいと考えています。

11月には、落ち葉拾い週間がありました。校庭に溜まった落ち葉を、朝登校してきた子供たちが拾い集めます。自主的な活動としているので、拾う子もいれば拾わない子もいます。それでも、私が落ち葉を掃いていると、「校長先生、手伝います。」と一緒に集めてくれたり、袋に入れてくれたりする子がたくさんいます。「校長先生、今日は手伝えません、ごめんなさい。」というかわいらしい1年生もいます。

先日休みの日に学校に来ると、正面玄関の周りや駐車場のところの落ち葉を掃いてくれている方がいます。声をかけると、近くにお住いの桐谷さんたちでした。桐谷さんたち「花の会」の方々は、本校の環境委員会の子供たちと一緒に学校の周りの樹木の下に花を植える活動をしてくださっています。休みの日にまで学校をきれいにしてくださっていることに感謝し、そのことを子供たちにも伝えました。自分たちの学校のために活動してくださっている方がいることが、「自分たちも何かしたい」という思いを生み、子供たちの自主的な活動につながっていきます。6年生は、朝校門に立ってあいさつ運動を始めました。毎朝、長縄をしよう決めて実践しているクラスもあります。

こうした自主性をつつじが丘小学校は大切にしていきたいと思います。自分たちが考えたことを実行し、だれかの役に立ったり、やり遂げた達成感をもったりし、そしてそれがだれかから褒められたり認められたりすると、一人一人の自己肯定感と自己有用感が高まっていき、自信へとつながっていきます。子供たちの自主性を大切に、励ましながら、やり遂げさせ、認める教育で、「だれもが笑顔になる学校」を実現していきます。